



選択肢以外の選択

米倉 卓司

日常生活では「選択肢の中から選ぶ」ということがよくあります。たとえばレストランで食事するとき、メニューの中から選択して注文します。メニューの種類が豊富でも、やはり範囲の中から選んでいます。けれど、新たなメニューが次々と生み出され、今後その選択肢が広がっていく可能性を持っています。選択肢の中から選ぶと言っても、その選択肢の種類は不変ではありません。

食以外の業界や分野でも、既存のものから選び取るだけでなく「もっとよいものを求めること」「新たな価値を生み出そうとすること」が繰り返されてきました。私たちの生活は、そうして変化してきました。各方面で心血を注いでいらっしゃる方々の努力には本当に頭が下がります。

先日、マサチューセッツ工科大学（MIT）が人間の脳の構造を模した人工シナプスをチップ化したメモリスターを開発したというニュースがありました。日本で運用されるスーパーコンピューター「富岳」が演算処理速度で世界1位になったそうですが、その大きさは、横80センチ、奥行き1・4メートル、高さ2・2メートルの計算機が12列、432台並んだ状態だそうです。MITの新技术が実用化されれば、より高速な処理が可能になりそうですから、「富岳」のようなサイズのものから急速に小型化して、現在普及しているようなPCサイズのスーパーコンピューターが実現するかもしれません。高速処理が必要となるAIなどの技術が一層進みそうです。

IT革命といわれる技術革新から、様々な分野が同様に進化していて、これからの数十年の変化は想像すら及びません。その急速な変化に対応できる能力を身につけることが教育にも求められています。そこには古くから伝わる素晴らしい技術を継承しつつ、新たな価値を付加するという意識が必要になってきます。もちろん、単に付加するだけでなく全く新しい理論や手法が生み出されるかもしれません。

次代を担う子どもたちの進路選択はそうした未来を想像しながら考えていくことになります。基本的な「選択」の作業だけではなく、新たな価値を見いだす作業、「選択肢以外の選択」をする必要があるのです。

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰など学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談して下さい。

●電話相談 ☎ **0120-3882-56**（無料、毎日24時間対応）

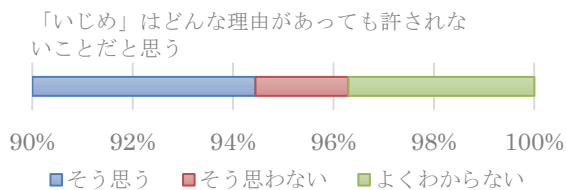
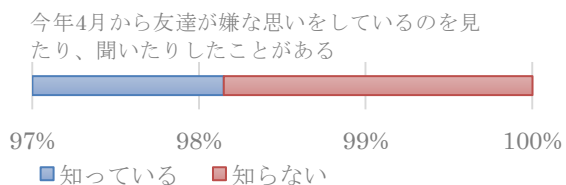
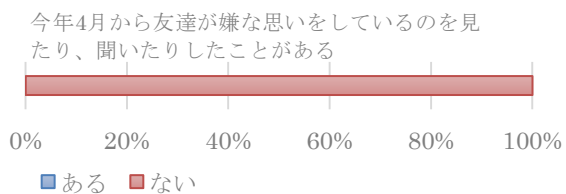
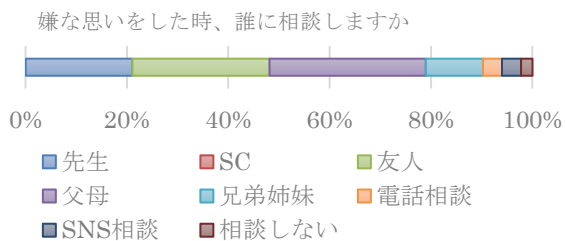
●メール相談 doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp ※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談 ※10:00～16:00（土日・祝日、年末年始はお休みです。）

子ども相談支援センター 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階 ※上記の電話相談で予約してください。

☆いじめアンケート結果☆

子ども達との良好なコミュニケーション、もしもの時に相談できる環境、つまり「居場所づくり」が私たち大人の役割です。学校・地域・家庭が共通理解のもと「いじめは絶対あってはならない」との認識にたち、「いじめのない社会」を目指していきましょう。



☆学力向上に向けて☆



生徒に「確かな学力」を身に付けさせることを目的として、より多様な指導形態や指導方法を取り入れるために加配教員を配置してまです。教科指導において、ティーチングによる指導を実施するほか、習熟の程度に応じたグループ毎の学習指導を行うなど、個に応じた学習支援の充実に努めています。本年も創意工夫をもって授業改善に努めてまいります。



3年生 数学の様子



2年生 理科の様子



1年生 英語の様子

☆避難訓練（1回目）☆



6月22日、校舎内での火災発生を想定して、避難訓練を行いました。沼田消防の方から消火器の使い方も説明していただきました。いざという時に自分の身を守るため真剣に取り組む沼田中学校生徒達でした。

